

2021年5月

『ONE WORLD Smiles』 評価規準・評価基準(ルーブリック)案について

教育出版株式会社 編集局 英語科

この度、令和2年度版『ONE WORLD Smiles 5・6』の各単元における評価規準・評価基準(ルーブリック)を作成いたしました。外国語科の評価を行う実際の場面で、具体的に児童のどのような姿が見られたらどのような評価をするかの考え方が課題になっているという声が多く寄せられております。そこで、今回のルーブリックは児童のより具体的な姿を示すことを重視し、『ONE WORLD Smiles 5・6』をご活用いただいている現場の先生方にもご協力いただきながら作成いたしました。評価計画・評価方法をご検討される際にお役立てください。

3つの観点において見取る内容や姿については、以下の方針で作成しております。

<知識・技能>

各単元の目標表現となる言語材料についての理解や定着

<思考・判断・表現>

コミュニケーションの工夫に関すること、相手への配慮：内容面、言語面を中心に、話すスピードや声の調子、反応の仕方など

<主体的に学習に取り組む態度>

学びの自己調整、粘り強さに関すること：これまでの学習の中で気づいたことを活かしてパフォーマンス等を向上させようとしている様子が見られるか、あるいはそのような姿勢がふりかえりシート等から見られるかなど

本ルーブリック案が、各学校や児童の実態に合わせた評価計画・評価方法をご検討される際の一助になりましたら幸いです。

指導助言：文教大学 金森強先生

作成協力：沖縄県中頭郡中城村立中城南小学校 上江洲育子先生

沖縄県沖縄市立宮里小学校 棚原直樹先生

沖縄県沖縄市立高原小学校 新野志真子先生

沖縄県うるま市立田場小学校 大城祐子先生

沖縄県中頭郡読谷村立古堅小学校 寺西千早先生